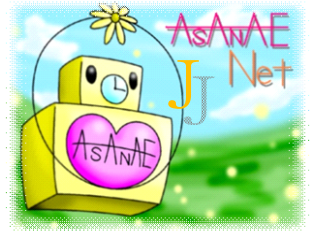


あさなえJネットNEWS

光市立浅江中学校コミュニティ・スクールだより

2019年度 第10号（令和2年3月7日発行）



あさなえJネット
双コトキャラクター「つながりん」

感謝の集い

「あさなえ 如月（きさらぎ）の夕べ会」

2月18日（火）16時30分から、「感謝の集い『あさなえ如月の夕べ会』」を開催しました。この会は、日頃から浅江中学校をさまざまな面で支えてくださっている地域の方々に感謝の気持ちを伝えるとともに、地域の方々の支援による活動の成果を紹介することがねらいです。当日は、約40名の地域の方々が本校「あさなえルーム」に集まってくださいました。

1年生代表から「あさなえ木工教室」の報告、2年生代表から「職場体験学習の振り返り」の発表や有志合唱団による合唱の披露、生徒会から生徒会としてのコミュニティ・スクールの取組の紹介、あさなえ学級の生徒たちから「あさなえワークス（職場体験学習）やサツマイモの栽培」などの発表を行いました。また、あさなえ学級の担当教員の演奏、教員による歌やフルート演奏で感謝の気持ちをお伝えしました。

会の途中には、あさなえ学級の生徒たちが調理したスイートポテトを食べていただきながらご歓談いただき、終始和やかなムードで、温かく楽しい会となりました。

ご参加いただいた地域の方々からは、「生徒が笑顔で話しかけてくれる。その笑顔を見たくて学校に来ています。これからも一緒に笑顔で活動していきたいと思います。」などのありがたい感想をいただきました。



あさなえ学級生徒による発表



地域の方々からの感想



驚きの「マジックショー」



1年生の発表の様子



2年生の発表の様子



生徒会執行部による
「あさなえJネット」の説明

私は中学校に入学してから、地域の方々と一緒にたくさんの活動をしてきました。特にあさなえワークスでは、ジョブサポーターとして付き添ってくださったおかげで、安心して仕事ことができました。如月の夕べ会では、3年間の感謝の気持ちを込めて、お菓子の準備や活動発表、マリンバの演奏を一生懸命にしました。卒業しても地域の方々との関係を大切にしていきたいです。

3年 中村 小春

広島県廿日市市、山口市、広島県府中市、兵庫教育大学などから、
本校のコミュニティ・スクールの取組や生徒の学校生活の様子を視察に来られました

2月10日（月）広島県廿日市市立阿品台中学校、山口市立平川中学校、2月25日（火）広島県府中市教育委員会、兵庫教育大学などから、本校のコミュニティ・スクール（※以下「CS」と表記）の取組や、生徒の学校生活の様子を視察に来校されました。

2月10日（月）の訪問では、教員から本校のCS取組の説明を行い、その後、実際の活動の様子として「2年1組の地域道德の授業」、「2年3組の地域英語の授業」、「しごと発見塾」などを参観していただきました。昼休みには、生徒会執行部が「あさなえJネット」に参画している活動の様子を発表しました。

2月25日（火）の訪問では、「1年1組、1年2組のあさなえ木工教室」、「2年2組の地域道德の授業」などを参観されました。その後、昼休みに生徒会執行部による「あさなえJネット」の発表を見ていただきました。生徒会執行部の発表の後、来校された方から、「浅江中学校に来て、まず感心したのが学校が非常にきれいであることです。それから生徒皆さんの姿勢がよいことです。このことは人として成長していくうえで、とても大切だと思います。この伝統をぜひ次につなげてください。」とのお言葉をいただきました。また、広島県府中市教育委員会の方からは、「浅江中学校の実践を参考にして、府中市のCSをより発展させたいと思います。」とおっしゃいました。今年度は、これで最後の視察となりました。1年を通して多くの方々「つながり」をもつことができ、CSの取組が広がっていることを実感することができました。



2/10（月）の全体会の様子



2/25（火）の全体会の様子



地域道德の授業の様子



あさなえ木工教室の様子



地域英語の授業の様子



生徒会の発表の様子

今日の地域道德では地域の方々と一緒に「地域のお祭り」について話し合いました。少子高齢化の日本、光市、浅江地区でどのようにしてお祭りを存続していけるかという議題について意見を交わしました。これからの浅江地区を担う中学生が浅江について考えることによって、より郷土愛も深まる良い機会になりました。地域の方の意見は長年生きてこられた経験をもとにした意見で僕たち中学生も参考になりました。これからも浅江地区を大切にしていきたいです。

2年 学級委員長 藤本 東也